Technical Report YK-079
July 10, 2023
Y. Karasawa

衛星伝搬の壷

一般財団法人 電波技術協会の会報 FORN 誌に 2022 年 9 月より隔月で 6 回に亘り技術解説記事「衛星伝搬の壷」を連載しました。かつて、国際回線の主要伝送路を担った衛星通信でしたが、近年、その衛星通信が新たな視点で見直される時代になってきました。電波伝搬そのものは時代に左右されない物理現象であり、過去の取り組みから現代の問題までを整理して解説を行いました。タイトルに付けた「壷」には、財宝の在り処を記す地図が隠されていると伝わる「こけ猿の壷」にあやかりたいとの気持ちも込めました。本レポートは、その全 6 講をまとめたものです。

（↓ここをクリックしてください）

第 1 講	伝搬研究は縁の下の力持ち	No. 348　2022.09
第 2 講	降雨減衰：ミリ波利用時の大問題	No. 349　2022.11
第 3 講	シンチレーション：ある日突然やってくる	No. 350　2023.01
第 4 講	海面反射フェージング：反射波は光の道を通って	No. 351　2023.03
第 5 講	陸上移動体を対象とする衛星伝搬問題	No. 352　2023.05
第 6 講	伝搬モデルの中の確率分布：温故知新	No. 353　2023.07

全 6 講をひとつの PDF にまとめたもの（全体容量圧縮のためやや低品質）はこちら

【参考】別のシリーズで、「電波研究の玉手箱」（全 10 講）をまとめています。
その PDF はこちら

（電波技術協会の著作物のため、引用の際は出典明記をお願いします）